

古河電工グループ中期経営計画2016～2020
IR事業説明会(インフラ/電装エレクトロニクス事業)

ゆるぎない 成長の実現

—*Delivering Sustained
Profitable Growth*—

Furukawa **G** Plan 2020 **G**roup **G**lobal **G**rowth



2016年5月30日/6月1日
古河電気工業株式会社 戦略本部

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

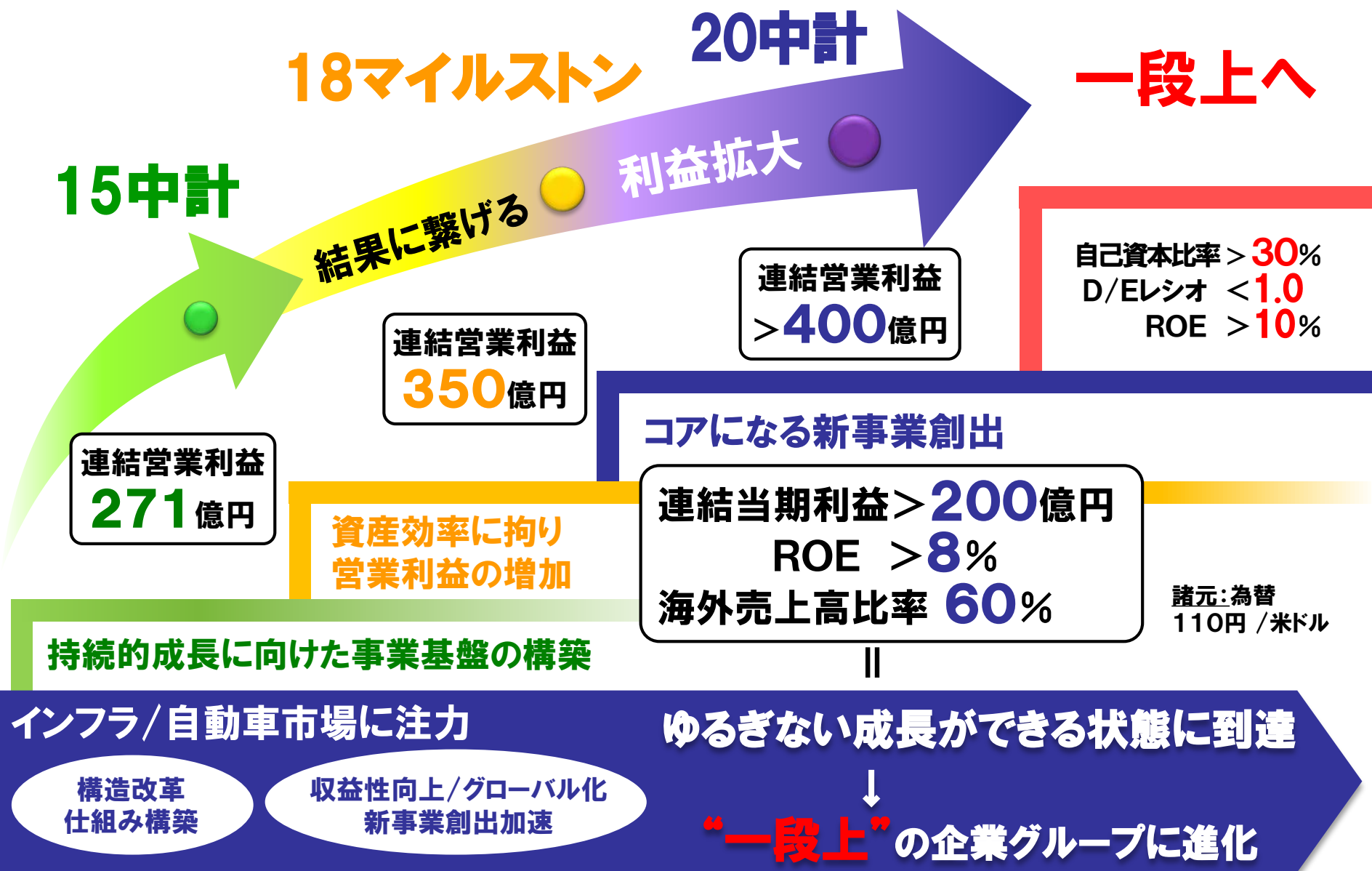
従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

20中計の全体像



セグメント別営業利益実績及び予想

(単位：億円)

	2015年度実績	2016年度予想	2018年度予想
	A	B	C
インフラ	77	75	100
情報通信ソリューション	80	81	94
エネルギーインフラ	△ 3	△ 6	6
電装エレクトロニクス	105	120	150
自動車部品・電池	80	90	110
電装エレクトロニクス材料	25	30	40
機能製品	85	85	100
サービス・開発等	4	△ 5	0
消去または全社	△ 0	△ 0	0
	271	275	350

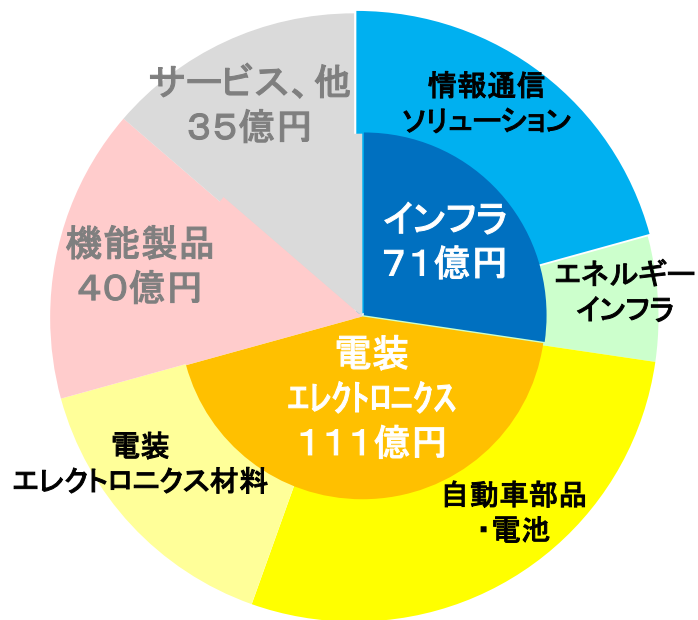
増減 16予想 対 15実績	増減 18予想 対 15実績
B-A	C-A
△2	+23
+1	+14
△3	+9
+15	+45
+10	+30
+5	+15
+0	+15
△9	△4
+0	+0
+4	+79

* 為替 15年度：121円、16及び18年度：110円

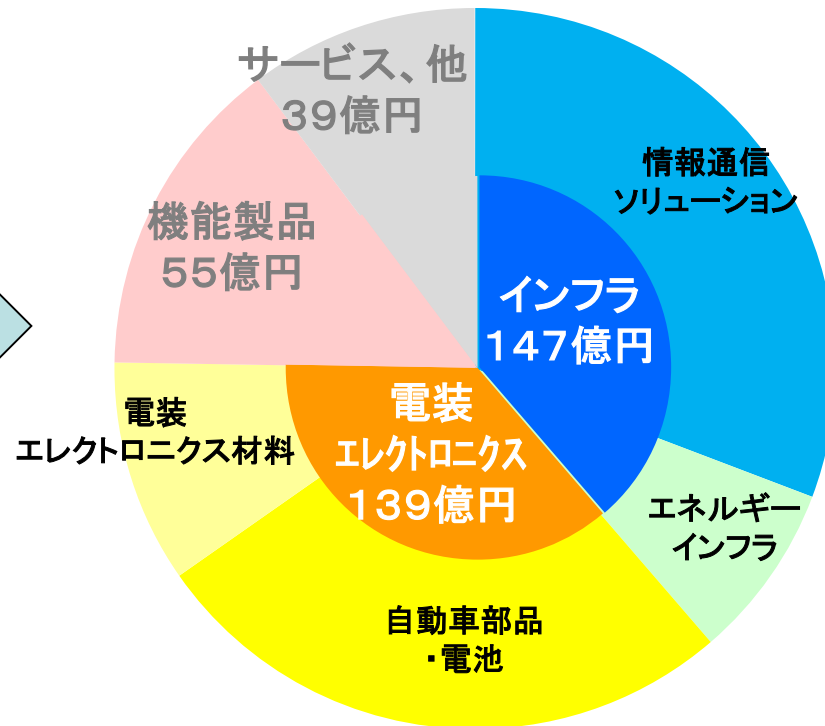
* 銅建値 15年度：675円、16及び18年度：600円

セグメント別設備投資

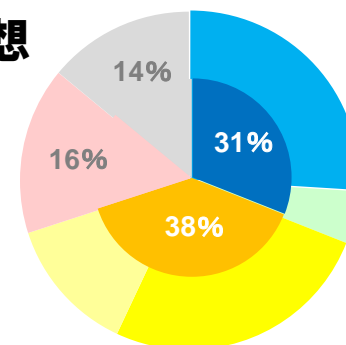
15年度実績 **257億円**



16年度予想 **380億円**



16-18年度累計予想
1,100億円



インフラ

情報通信ソリューション

強化

- ✓ 光ファイバ増産／アクティブ光製品強化
- ✓ ソリューション事業拡大(アジアへ)
- ✓ 国内情通事業改革推進

エネルギーインフラ

変革

- ✓ 新エネ需要取り込み加速
- ✓ 超高压電力ケーブル事業改革
- ✓ 建販向け低圧ケーブル事業改革

電装エレクトロニクス

自動車部品・電池

- ✓ アルミ化・機能部品比率アップ
- ✓ 電池拡販(産業用・自動車用)
- ✓ 通信・無線技術との融合推進

強化

電装エレクトロニクス材料

- ✓ 無酸素銅応用製品の拡大
- ✓ 高性能巻線増強(自動車用平角線、リボン線)
- ✓ 低採算製品群の縮小(高付加価値製品へシフト)

変革